

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

3

男子 女子 2回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名				チーム名				
総得点				総得点				
夙川学院高等学校	19	[	9	—	11	]	21	名経大市邨高等学校
			10	—	10			
			—	—	—			
			—	—	—			
			—	—	—			
7mTC								

近畿ブロックで出場回数 30 回をこえる兵庫・夙川学院と昨日初戦突破した東海ブロック愛知・市邨の対戦。夙川のスローオフで試合開始。まずは夙川右サイド⑥番のシュートで先制。その後も連続得点し 3-0 とするが、落ち着きを取り戻した市邨も反撃を開始し、6 分には追い付き、競った展開となる。両チームともかたいディフェンスで相手のポスト攻撃を良く封じ、簡単には得点を許さない。⑥番のミドルシュートが何本か要所で決まった市邨がわずかに主導権を握り、前半終盤の連続得点で 2 点差をつけ、前半終了。後半に入りすぐに夙川が速攻主体で 3 連取し逆転。ポストにパスが通りはじめた夙川が少しリードする展開でゲームは進むが 14 分過ぎ、相手の退場時間帯について市邨⑬番の 3 連続のカットインシュートが決まり、市邨が逆転に成功。その後は最後までもつれた展開が続いたが最後は市邨⑧番③番のコンビプレーと⑥番のロングシュートが決まり、市邨が接戦をものにして、明日の 3 回戦に進出となった。

30 年 3 月 25 日

記者氏名 潮海 克郎

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

4

男子 ・女子 2回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸

Bコート

チーム名				チーム名			
総得点				総得点			
高岡向陵高等学校	18	⌈	8	—	11	22	県立高松商業高等学校
			10	—	11		
				—			
				—			
				—			
				7mTC			

2回戦第2試合は13年連続27回目の出場となる北信越代表高岡向陵高校と四国代表今回が

初戦となる17回目の出場の高松商業高校の対戦。前半は高岡向陵がスローオフ。開始から両者

速攻を交えたシーソーゲームを呈した。15分経過以降高松商業が小刻みに得点しリードする。

一方、高岡向陵は集中力を切らさず得点差を縮めながら反撃していく。両チーム、コンビネーション

から繰り出す躍動的な動きを展開し、8対11の高岡向陵の3点リードで前半を終了した。後半、

開始早々、高松商業3番のカットインで得点を決め、さらに7番、4番もシュートを決めていく。

流れを変えるべく高岡向陵がタイムアウト、その後6番が続けてシュートを2本決め、4点差に

戻す。以降、一進一退の攻防が続き、さらに高岡向陵がタイムアウト、その後連続得点を重ね、

リード1点差までし、今度は高松商業がタイムアウト、以降、取られたら取り返す手に汗握る攻防

を続けた。最後は、高松商業が3連続得点と畳みかけ、前半のリードをそのまま持ち越し、18対

22で高松商業が勝利し3回戦に駒を進めた。両チーム脚を存分に活かした試合であった。

2018年3月25日

記載者氏名 沖谷 晃一郎

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

女13

男子 ・ 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 加古川市立総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立飛騨高山高等学校	<u>32</u>	15 17 — — — — 7mTC	4 10 — — — —	<u>14</u> 氷見高等学校

大会2日目第2試合2番橋戸、3番高石らで2連続ゴールと気を吐いた飛騨高山高校に対し、

氷見高校もすぐさま6番林のカットインで1点を返した。しかし、飛騨高山高校5番阿礼を中心

としたオフェンス、12番後藤のナイスセーブなどで、リードを7点に広げる。氷見高校は22

分にタイムアウトを取って流れを変えようと試みるが、飛騨高山高校の堅固な6-0ディフェン

スを破ることが出来なかった。飛騨高山高校はその勢いを保ったまま、3連続得点もあり、11

点のリードで前半を終了する。

後半に入り、反撃したい氷見高校は5番平井のミドルシュート、2番水上のサイドシュートな

どで得点を重ねるが、対する飛騨高山もアグレッシブなDFからの素早い速攻で点を確実に決め

前半のリードを更に広げる。GK1番屋敷のナイスセーブが光った氷見高校だったが、強力な

OFと堅固なDFで終始リードを保ったまま、飛騨高山高校が32対14でこの試合を制し、3

回戦へと駒を進めた。

30年 3月 25 日

記載者氏名 橘 可奈依

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

2

男子 ・ 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 高砂市総合体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名
市立岐阜商業	24	13 11 — — — 7mTC	13 16 — — —	昭和第一学園

市立岐阜商業のスローオフで始まった試合、開始直後から昭和第一学園が固いディフェンスを見せ、攻撃へのチャンスを作り、3点を先取した。このまま勢いに乗らせまいと市立岐阜商業は試合開始から7分、7番 林の得点でようやく反撃を開始する。その後は両チームとも互いの堅守のわずかな隙をつき得点を上げるも、2点差のまま均衡状態が続いた。前半中盤、市立岐阜商が2度の連続得点のチャンスを生かし8－8と追い付いた。両チーム譲らず13－13の同点で前半を折り返した。

後半の立ち上がり、昭和第一学園が3連続得点で勢に乗る。追い上げる市立岐阜商に対し、昭和第一は素早い切り替えで速攻のチャンスを活かし、また点差をつける。まさに一進一退の攻防を繰り返して、勝負は終盤にまでもつれ込んだ。終盤、市立岐阜商業は攻撃的なディフェンスでボールを奪いにいくも、昭和第一学園の素早いパスや動きを止め切ることができず、得点を奪われる。最後まで目が離せない手に汗握る展開であった試合。最後まで疲れが見えず、動きの速さが際立った昭和第一学園が29－24で市立岐阜商業を下し、3回戦への進出を果たした。

30年 3月 25日

記載者氏名 原田 真行

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男7

男子 ・ 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸国際大学附属高等学校

チーム名	総得点		総得点	チーム名
四日市工業高校	26	12 14 — — — — 7mTC	14 14 — — — —	藤代紫水高校

本日第2試合目、ともに初戦である四日市工と藤代紫水との対戦。四日市工のスローオフで試合開始。

藤代紫水は2番吉田のDFの隙をついたミドルシュート、5番榎本のカットインからのシュートで2

連取し、前半好スタートを切る。一方、四日市工も3番金津のステップシュート、4番内田のサイド

シュートで反撃にでる。その後、藤代が3連取し7対3とリードするが、四日市工の高いDFでプレ

ッシャーで相手のミス誘い、逆速攻から点をつなげ、5連取に成功し逆転。そこから一進一退の攻防

で試合は展開するが、終盤、エース5番榎本の連続得点で藤代紫水が14対12と2点リードで前半

を終える。後半は四日市工がクロスプレーから3番金津が豪快なロングシュートで先取し、その後も

3連続得点をあげ、逆転に成功する。一方藤代紫水は5分間無得点と苦しい時間が続く。しかし2番

吉田の得点が流れを変え、再度逆転し四日市工がT.Oを取る。その後、藤代紫水が退場者を出した

隙をつき、同点に追いつく粘りを見せたが、最後は5番榎本が連続得点をあげ、藤代紫水が28対

26で逃げ切った。

30年 3月 25日

記載者氏名 杉山 博章

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

12

男子 ・ 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸市立中央体育館

コート

チーム名				チーム名			